

新・新潟市総合計画の実施結果について

■ 「新・新潟市総合計画」から「にいがた未来ビジョン」へ

新・新潟市総合計画は、平成 19 年度から 26 年度までの 8 年間で計画期間とし、基本指針や各分野の施策を示した「基本構想」及び「基本計画」と、これらを踏まえ重点的・集中的に取り組む施策やそれらを推進する主な事業を示した「実施計画」により、計画を着実に推進し、「拠点化」と「個性化」を軸にまちづくりを進めてきた。

計画期間の 8 年を経る間、中越沖地震、リーマンショックに端を発する世界的金融危機、3.11 大震災など、当初予測できなかった様々なことが発生した。

今後、そのような予測できない環境変化に加え、急激な人口減少、少子・超高齢化の進行による様々な影響への対応が求められるなか、市民意見や議会における議論を踏まえ、平成 26 年度に新たな総合計画「にいがた未来ビジョン」を策定した。

平成 27 年度からは、政令市としての「土台づくり」から「さらなる成長」に向け、「にいがた未来ビジョン」によるまちづくりを進めている。

■ 新・新潟市総合計画の総括 ～主な取組みと成果～

平成 19 年度から、「新・新潟市総合計画」に掲げる 5 つの都市像とまちづくりの基本的方向性に基づきこれまで推進してきた主な取組みと成果については以下のとおりである。

○ 都市像 I 地域と共に育つ、分権型協働都市

まちづくりの基本的方向性

全ての市民の人権や能力が尊重され、また市民・地域と行政がパートナーとして互いを尊重し、それぞれの責任を自覚しながら共通の課題に取り組む、協働による自立したまちづくり

<主な取組みと成果>

市民、地域が主役となるまちづくりに向けた支援に取り組み、コミ協などが地域包括ケアシステムや放課後児童クラブ運営で活躍していただく環境を整備したほか、地域の新たな魅力の掘り起こしとともに、区の権限・体制強化や、コミ協、自治協とのさらなる協働を推進する取組みを実施するなど、地域の特性を活かしたまちづくりを進めてきた。

さらに、行政改革プランの着実な推進など、協働のパートナーである市民から信頼していただける市政の品質や透明度の向上に向けた取組みを進めたことで、経営革新度ランキングの向上につながった。

○ 都市像Ⅱ 大地と共に育つ、田園型拠点都市

まちづくりの基本的方向性

日本海側の拠点にふさわしい都市機能と、広大な田園や河川・潟などの水辺や海岸や里山などの自然が調和し、多様な都市型のサービスが受けられると同時に自然の恵みも享受できるなど都市と田園が互いに恵みあう、都市と自然・田園が調和するまちづくり

<主な取組みと成果>

新たな都市計画基本方針に基づき、市街地の拡大路線から転換を図り、自然・田園と調和したまちづくりを進めてきたほか、いくとぴあ食花やアグリパークを活用した全小学生に食育と農業体験学習（アグリ・スタディ・プログラム）に取り組んでもらう「わくわく教育ファーム」を開始するなど、食育・花育の推進に取り組んできた。

また、がんばる農家への支援など農業生産基盤強化に取り組むとともに、農業の6次産業化、ニューフードバレー構想を推進してきたことで、農業分野における国家戦略特区の指定へとつながったほか、環境先進都市への取り組みの推進により、政府から環境モデル都市に選定された。

○ 都市像Ⅲ 世界と共に育つ、日本海交流都市

まちづくりの基本的方向性

本州日本海側初の政令指定都市として、北東アジアに向かい合う優位性や高速交通網を活かし、多様な交流を通じて力強く発展するとともに、国内外に貢献する活力あるまちづくり

<主な取組みと成果>

本州日本海側で群を抜く本市の拠点性を伸ばし、活かす取り組みを進め、港、空港、道路、鉄道などの利便性を向上させたことにより、3.11大震災時に日本最大級の救援センターとして機能したほか、G8やAPECなどの国際会議開催や、東アジア文化都市の開催など、さらなる拠点性の向上につながった。

また、成長産業の育成による雇用創出に取り組み、航空機産業やニューフードバレーを成長産業に導く流れをつくってきた。

○ 都市像Ⅳ 安心と共に育つ、くらし快適都市

まちづくりの基本的方向性

社会がめまぐるしく変化する中において、安心・安全でゆとりある生活の実現は、最も基本的な課題であることから、市民・地域・行政のバランスのとれた役割分担の中で、質の高い暮らしづくり

<主な取組みと成果>

誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組み、特別養護老人ホームの前倒し整備や、障がい者への支援を行ってきたほか、こども医療費助成の拡大や保育料無償化拡大、待機児童ゼロの堅持など子育て支援の充実を図ってきた。

また、食育・花育センター開設や、楽しみながら健康づくりが行える「健幸マイレージ制度」の導入など、食育や健康になれるまちづくり（SWC）への取組みを推進してきた。

○ 都市像Ⅴ 市民が共に育つ、教育文化都市

まちづくりの基本的方向性

子どもから大人まで全ての人がその能力を磨き、実践できる環境づくりを進めるとともに、地域文化の振興や新しい文化の創出に努め、可能性と創造性に満ちた人々が、育ち活躍するまちづくり

<主な取組みと成果>

地域人材との協働と参画に取り組み、教育コーディネーターの全校配置や、地域の大人と子どもたちとの交流促進を図ったほか、政令市教育委員会の権限を最大限引き出しながら進める学社民の融合による人づくりに取り組み、教育委員の担当区制や教育ミーティングのモデル実施など、特長ある教育環境の整備を進めてきた。

また、文化・スポーツの振興に取り組み、水と土の芸術祭開催やマンガ・アニメによる賑わい創出、1万人マラソンとして定着した新潟シティマラソンの開催、アイスアリーナの整備など、本市の個性を伸ばしてきた。

本市は、「新・新潟市総合計画」の各都市像におけるこれらの取組みにより、政令市としての土台を築きあげてきた。

今後は、持続可能なまちづくりの実現に向け、人口減少、少子・超高齢化の急速な進行による地域の人口構造の変化や、生産年齢人口減少のなかでのまちの活力の維持向上など、本市を取り巻く様々な状況を踏まえて策定した、「にいがた未来ビジョン」を着実に推進していく。

■ 新・新潟市総合計画の総括(主な取組みと成果)

取組み内容と成果を引き継ぐ「にいがた未来ビジョン」の都市像等

都市像Ⅰ 地域と共に育つ，分権型協働都市

【主な取組み内容と成果】

- ◎市民が主役のまちづくりを行うための支援や活動拠点の整備などの仕組みづくり
⇒まちづくりセンターの整備
⇒コミ協による地域包括ケア構築に向けた取組み
⇒コミ協による放課後児童クラブ運営のモデル実施
- ◎地域の特性を活かしたまちづくりの推進
⇒水と土の芸術祭などを通し，地域のたから・魅力を掘り起し
⇒地域一体感の一層の醸成
⇒本市にふさわしい大都市制度の実現のため，自治の深化に向けて検討し，区の権限・体制強化や，コミ協や自治協とのさらなる協働を推進する取組みを実施
- ◎市政の経営品質や透明度の向上に向けた取組みを推進
⇒行政改革プランの着実な推進（経営革新度ランキング2013総合9位）

【本市を取り巻く状況】

- 人口減少，少子・超高齢化の進行による地域の人口構成の変化
- 特色ある8つの区における多様な歴史，文化，地勢
- 総合区など大都市制度改革に向けた動き
- 広域合併を背景とする多様なニーズ
- 生産年齢人口の減少の中における行財政運営

都市像Ⅰ 安心協働都市

- 政策① ずっと安心して暮らせるまち
・高齢者を地域で支える仕組みづくり
- 政策② 男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまちづくり
・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり
- 政策④ 地域力・市民力が伸びるまち
・コミ協や自治協とのさらなる協働の推進

都市像Ⅱ 環境健康都市

- 政策⑤ 地域資源を活かすまち
・本市のアイデンティティ「水と土」からまちの魅力を向上
・自然や歴史，文化など地域の個性を活かしたまちづくり

行政運営方針

- ①市民・地域の役割と協働によるまちづくり
- ②時代変化に即応した行政経営
- ③持続可能な財政運営
- ④本市にふさわしい大都市制度
- ⑤他自治体との連携・ネットワーク化

都市像Ⅱ 大地と共に育つ，田園型拠点都市

【主な取組み内容と成果】

- ◎新たな都市計画基本方針による「まとまりのある質の高いまちづくり」
⇒市街地の拡大路線から，自然・田園と調和したまちづくりへ転換
- ◎食育・花育の推進
⇒食育・花育センターによる食育・花育の実践，
⇒いくとびあ食花，アグリパークを活用した全小学生に食育と農業体験学習（アグリ・スタディ・プログラム）に取り組んでもらう「わくわく教育ファーム」を開始
- ◎農業担い手育成などがんばる農家への支援
⇒認定農業者の増加と生産基盤の強化
⇒ニューフードバレー構想の推進
⇒大規模農業の改革拠点として国家戦略特区に指定
- ◎環境先進都市への取り組み
⇒新潟市地球温暖化対策実行計画による「新ごみ減量制度の開始」
⇒学校給食残さはほぼ全量が堆肥化，飼料化
⇒政府より環境モデル都市に選定（H24年度）

【本市を取り巻く状況】

- 人口減少社会における持続可能なまちづくりの必要性
- 食料自給率60%を超える田園環境と食品加工業の比率が高い特徴をあわせ持つ都市
- 6次産業化の流れなど，農業を取り巻く環境変化
- 農業従事者の高齢化
- PM2.5、ごみの分別など環境意識の高まり

土地利用方針

- ～田園に包まれた多核連携型都市
新潟らしいコンパクトなまちづくり～

都市像Ⅱ 環境健康都市

- 政策⑤ 地域資源を活かすまち
・食と農を通じた地域づくり，農業の12次産業化

都市像Ⅲ 創造交流都市

- 政策⑩ 魅力を活かした交流拠点
・食育，花育，農業体験など「食と花の新潟」を支える基盤づくり促進，魅力向上，交流人口の拡大へ

都市像Ⅲ 創造交流都市

- 政策⑧ 役割を果たし成長する拠点
・国際的な農業・食品産業の拠点に向け，ニューフードバレーを推進
・農業基盤整備促進とともに多様な担い手の育成

都市像Ⅱ 環境健康都市

- 政策⑥ 人と環境にやさしいにぎわうまち
・田園環境を活かしたバイオマス資源の利活用などによる資源循環型社会の構築
・再生可能エネルギーの普及などCO2排出量が少ない低炭素型まちづくり
・持続可能な公共交通体系の構築

都市像Ⅲ 世界と共に育つ、日本海交流都市

【主な取組み内容と成果】

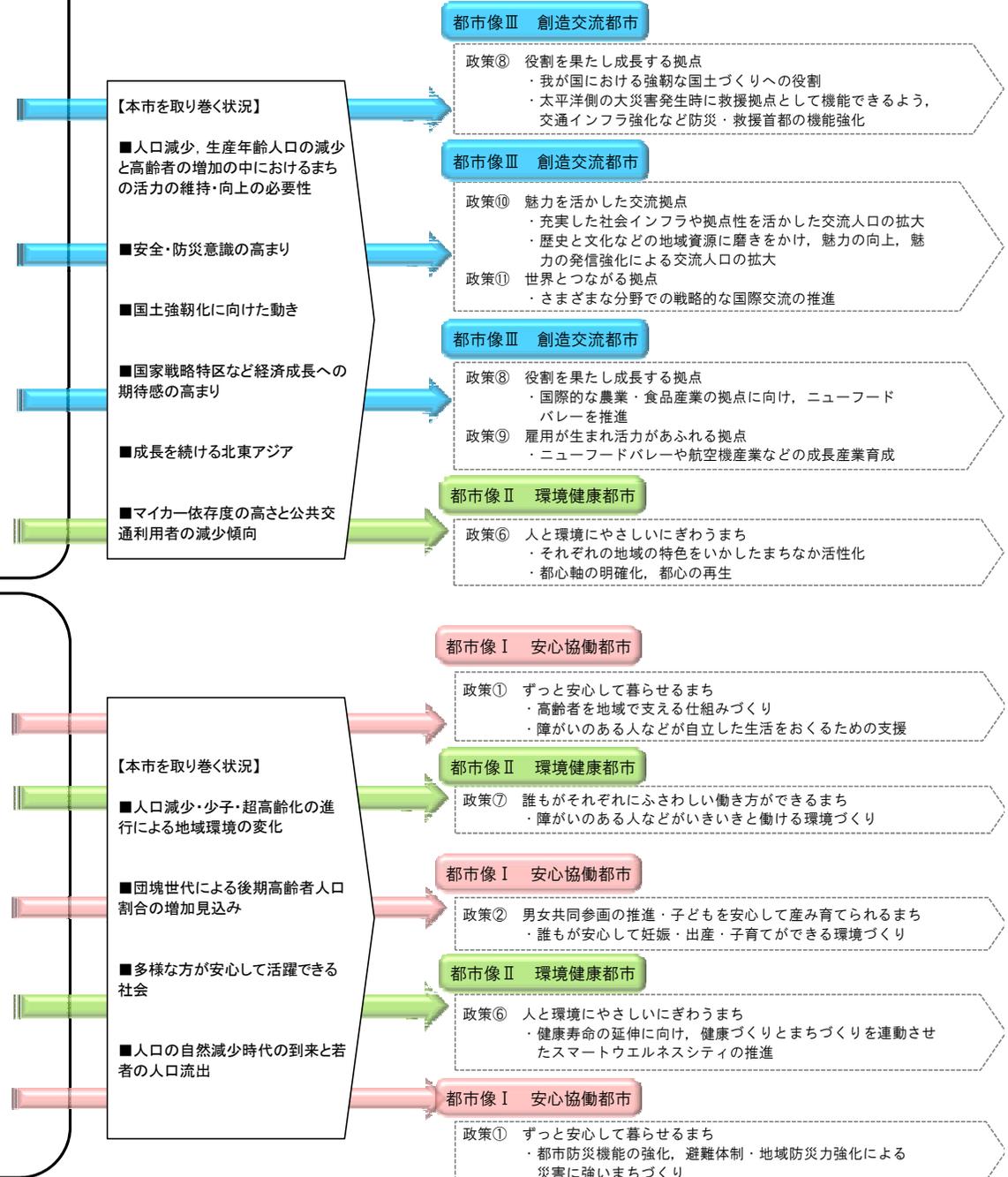
- ◎日本海側の拠点都市としての本市の拠点性の強化
 - ⇒新潟港の整備促進，新潟空港の利便性向上，新潟駅周辺地区の整備，公共交通の利便性向上
 - ⇒3.11大震災時に日本最大級の救援センターとして機能
 - ⇒新潟市国土強靱化地域計画を策定
- ◎拠点性を活かした多様な交流の促進への取り組み
 - ⇒北東アジア地域との交流促進
 - ⇒都市イメージと魅力発信による誘客促進
 - ⇒G8（H20年度），APEC（H22年度）など，大規模国際会議を開催
 - ⇒東アジア文化都市2015開催都市に選定
- ◎成長産業の育成による雇用の創出
 - ⇒航空機産業の育成（西蒲区に共同部品工場整備，南区に戦略的複合共同工場整備）
 - ⇒ニューフードバレー 農業を成長産業に導く流れ（国家戦略特区指定）
- ◎中心市街地など「楽しいまちなかの形成」への取り組み
 - ⇒駅前，万代，古町など都心軸リノベーション
 - ⇒区の拠点商業活性化計画の策定と実践

都市像Ⅳ 安心と共に育つ、くらし快適都市

【主な取組み内容と成果】

- ◎安心して暮らせる地域づくり
 - ⇒特別養護老人ホームの前倒し整備
 - ⇒地域包括支援センターの基盤強化，在宅医療支援診療所の増加
 - ⇒障がい者グループホーム整備，障がい者雇用の促進
- ◎子育て支援の充実
 - ⇒待機児童ゼロの堅持
 - ⇒こども医療費助成対象年齢の拡大，保育料の無償化拡大
 - ⇒相談・支援体制の充実
- ◎食育・健康づくり、スマートウエルネスシティへの取り組み
 - ⇒健康づくり意識・実践の向上，食育・花育センターの開設
 - ⇒「健幸マイレージ」制度の導入
- ◎地域防災力の向上に向けた取り組み
 - ⇒自主防災組織結成率の向上
 - ⇒学校と地域が連携した防災教育のモデル実施

取組み内容と成果を引き継ぐ「にいがた未来ビジョン」の都市像等



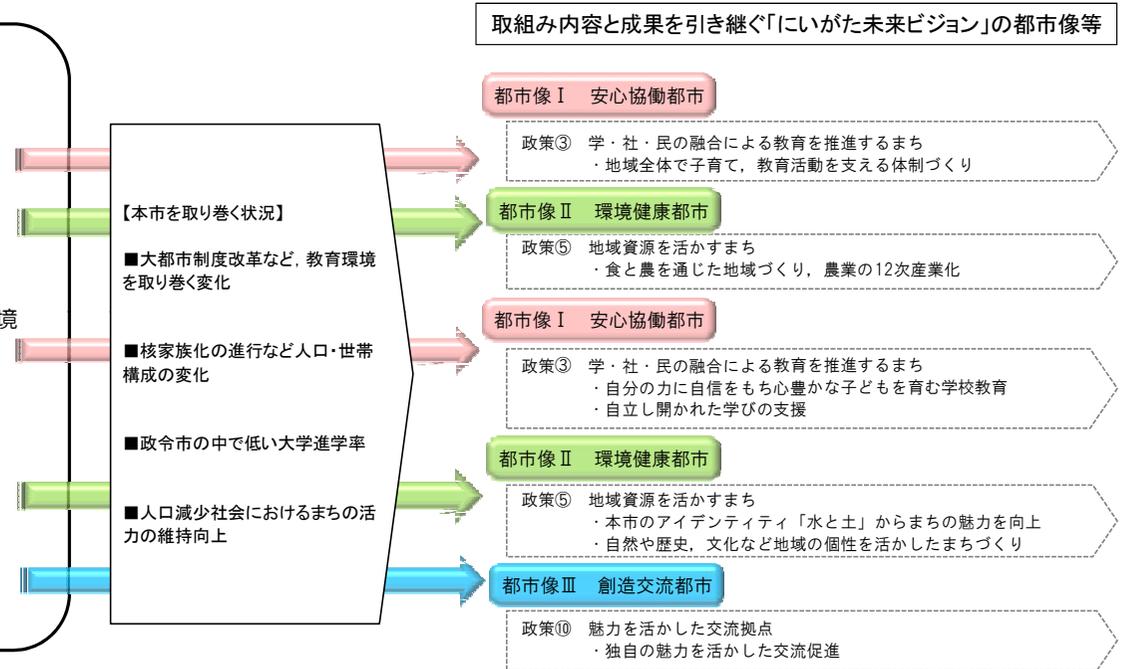
都市像Ⅴ 市民が共に育つ，教育文化都市

【主な取組み内容と成果】

◎地域人材との協働と参画の推進に向けた取り組み
⇒地域教育コーディネーターの全校配置，地域の達人として活躍
⇒学校支援ボランティアなど，地域の大人と子どもたちとの交流促進
⇒食と農を通じた人づくり，教育ファームの実践

◎政令市教育委員会の権限を活かした学社民の融合による人づくり，特色ある教育環境
⇒学力の向上，教師力の向上
⇒学校教育，地域教育への関心向上
⇒地域密着の教育行政を進めるため，教育委員の増員，担当区制，
区教育ミーティング，中学校区ミーティングの実施

◎本市の個性を伸ばす，文化・スポーツの振興
⇒水と土の芸術祭，マンガアニメによる賑わい創出
⇒「文化芸術創造都市部門」文化庁長官表彰受賞（H24年度）
⇒新潟シティマラソンが1万人マラソンとして定着，アイスアリーナ整備
⇒東アジア文化都市2015開催都市に選定



【にいがた未来ビジョン構成】

土地利用方針

～田園に包まれた多核連携型都市
新潟らしいコンパクトなまちづくり～

行政運営方針

- ①市民・地域の役割と協働によるまちづくり
- ②時代変化に即応した行政経営
- ③持続可能な財政運営
- ④本市にふさわしい大都市制度
- ⑤他自治体との連携・ネットワーク化

都市像Ⅰ 市民と地域が学び高め合う，安心協働都市

- 政策① ずっと安心して暮らせるまち
政策② 男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまち
政策③ 学・社・民の融合による教育を推進するまち
政策④ 地域力・市民力が伸びるまち

都市像Ⅱ 田園と都市が織りなす，環境健康都市

- 政策⑤ 地域資源を活かすまち
政策⑥ 人と環境にやさしいにぎわうまち
政策⑦ 誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち

都市像Ⅲ 日本海拠点の活力を世界とつなぐ，創造交流都市

- 政策⑧ 役割を果たし成長する拠点
政策⑨ 雇用が生まれ活力があふれる拠点
政策⑩ 魅力を活かした交流拠点
政策⑪ 世界とつながる拠点